

Book Fan Newsletter

書店員が選んだ

今月のおすすめ本

発行:平成26年7月15日
編集:塩尻市立図書館
0263-53-3365
(Book Fan Newsletter 25号)

『りんごかもしれない』

ヨシタケ シンスケ / 作 ブロンズ新社

目の前にあるりんごはりんごかもしれないが、ひょっとするとりんごではないかもしれない…。大人には当然でしかないものも、子どもたちの眼には不思議さと無限の可能性が広がっているものです。凝り固まった概念という世界から抜け出しましょう。絵本を閉じたとき眼に映るもの全てが別の物に見えるかもしれない？！

(興文堂 平田店 古川さん)



『面倒だから、しよう』

渡辺 和子 / 著 幻冬舎

生来の面倒くさがり屋の私は書名に釘づけになった。毎日当たり前前に生活できるありがたさ、不甲斐ない自分を受け入れること、相手の気持ちを考えること、感謝の気持ちを忘れないことを土台にして、「面倒だから、しよう」と本書は綴る。

この世に「雑用」という用はない。用を雑にしたとき人生は「つまらない」ものになる。私の一番共感した言葉だ。

(中島書店 木下さん)



『ハナミズキのみち』

浅沼 ミキ子 / 文 黒井 健 / 絵 金の星社

忘れてはいけない。あの日、大きな波にのまれ多くの命が失われたことを。そして愛する人を失い、会いたい会いたいと願いながらも、今この時を懸命に生きている人がいることを。

岩手県陸前高田市で東日本大震災に遭い、長男を津波で亡くした筆者がその悲しみを乗り越えるために紡いだ言葉と、やさしい絵が静かに語りかける。

(中島書店 霜田さん)

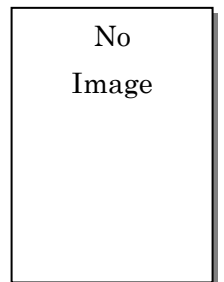


『ぼくのおやつ』

ぼく / 著 ワニブックス

Twitter で人気のイラストレーター、「ぼく」の大人気レシピを書籍化。「フワトロパンケーキ」、「材料2つだけ！ガトーショコラ」などなど、夏休みのお子さんとおやつ作りにぴったりな、かんたんでおいしいレシピが満載。まるで絵本のようなかわいいレシピ本で、見ているだけでもあきない一冊。

(丸文書店 金子さん)



※画像のない本は、本紙発行時点で図書館に所蔵していない本です。

📖 この面に掲載されている本の紹介は、市内に本店のある4書店にご協力いただいています。📖

神 田堂 (52-1283)

注文品の迅速な手配を心がけており、地元著者の自費出版本など地域とともに活動しております。

興 文堂書店 (97-3949)

いよいよ夏休み♪
課題図書、実験や工作のヒント・・・見つけます！
虫や動物、星などの図鑑・・・揃ってます！！

中 島書店 (54-3968)

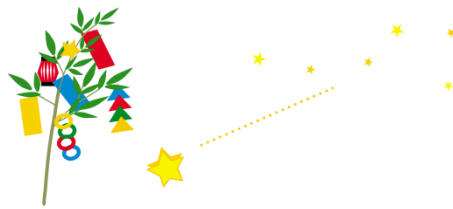
フェアのご案内
「暑い！だから美味しいカレー&ひんやりレシピ」
「大皿で食べる夏野菜」
期間7/15～8/14

丸 文塩尻書店 (52-5515)

夏休みフェア開催中！
自由研究のテーマに困ったら丸文書店へ。

図書館職員が選んだ

今月のおすすめ本



『防災ピクニックが子どもを守る!』

MAMA-PLUG/ 著 KADOKAWA

東日本大震災から3年…避難バックの備え方やガスバーナーでの非常食の作り方など、いざという時に役に立つサバイバル術が満載です。

たくさんの写真と可愛い絵とともにわかりやすく解説されているので、親子で一緒に楽しく読める一冊です。

(社会科学分野担当 杉山)



『対訳 Q&A 英語で解く日本史101』

ケリー・クイン / 著 足立 恵子 / 訳 IBCパブリッシング

日本史で知っておきたい基礎知識を精選し、Q&A形式で紹介しています。

日本語の対訳付きなのでわかりやすく日本史を学べるだけでなく、日本史の出来事を英語で話す際の表現や用語を知ることができ、英語の学習、スキルアップにも繋がります。

(言語分野担当 太田)



『世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ』

くさば よしみ / 著 中川 学 / 絵 汐文社

“世界一貧しい大統領”と呼ばれる南米ウルグアイのムヒカ大統領。2012年の国際会議、質素なスーツ姿で壇上にあがった彼の言葉は、多くの人々の心をうちました。そのときのスピーチが、わかりやすい言葉で絵本になっています。“幸せ”とはなにか、現代社会に生きる大人にこそ読んでほしい、胸に迫る1冊です。

(児童書担当 青山)



『近い相手ほど許せないのはなぜか』

榎本 博明 / 著 角川マガジンス

心理学博士である著者が、職場や学校の「許せない」感情の事例などをまじえ、丁寧に「許す心」の大切さを説き明かしています。ただの友達や同僚だと腹が立たないことが、なぜ親しい相手だと許せないほど腹が立つのか。視点を変えることによって生まれる絆についてなど、人間関係をより良く築きあげるためのヒントがもらえる本です。

(哲学分野担当 林)



『ころろとしんぞう』

中川 ひろたか / 文 村上 康成 / 絵 保育社

「すごいぞ、ぼくらのからだシリーズ」第5弾が出ました。緊張するとドキドキ、かけっこするとドキドキ、すきなあの子に会ってもドキドキ…このドキドキってなんだろう？ からだのふしぎが子どもの視線でわかりやすく描かれています。

へえ、ふしぎだな、すごいなと感じることで、自分のことも周りの人のことももっと好きになって、もっと大切に思うことができる一冊です。

(児童書担当 平澤)



『めざせ！日本酒の達人』

山同 敦子 / 著 筑摩書房

いまどきの日本酒は、シュワシュワと泡立つ爽快なタイプ、キリリとした切れのよいメリハリのあるタイプなど、驚くほどバラエティに富んでいることをご存知でしょうか。

日本酒に興味を持ち始めた初心者が達人に指南を受けていくという形で、日本酒の基礎知識や居酒屋・家飲みの楽しみ方などが書かれています。読めばきっと好みの一本を探しなくなる！？

(古田文庫担当 伊藤)

